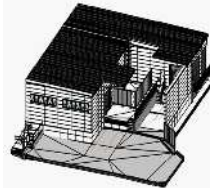
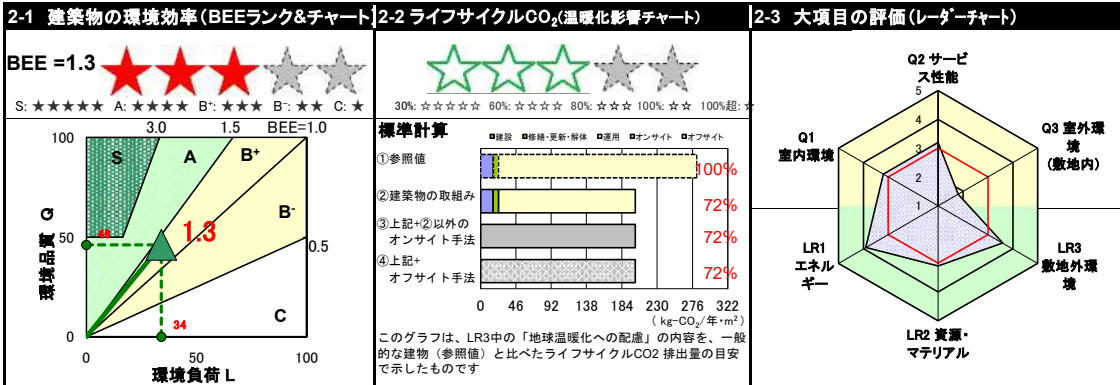
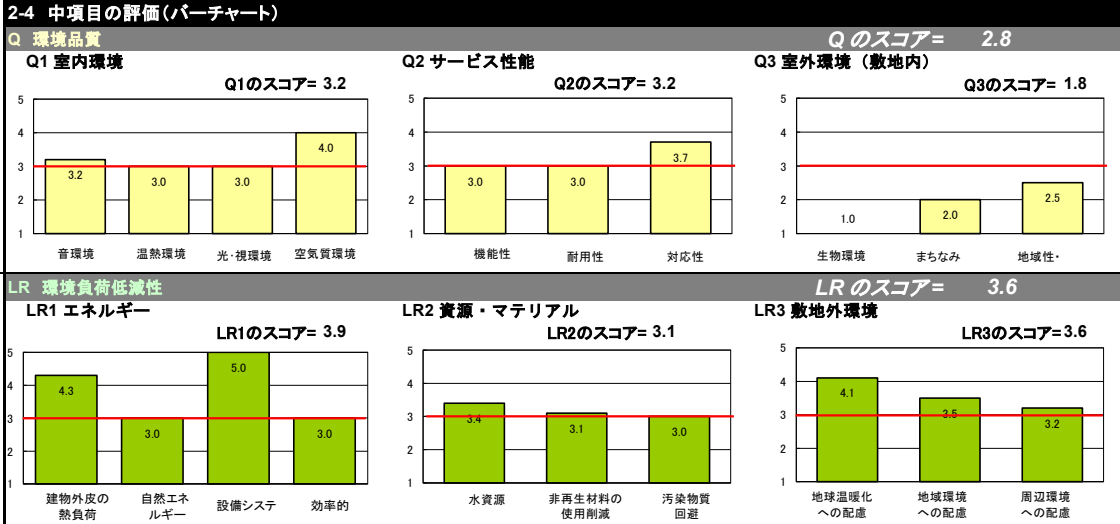


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フェルナ安城新明町店	階数	地下0階地上1階
建設地	愛知県安城市新明町2丁目4-27番地、27番地、27番地1、27番地402-1番地、27番地402-2番地、27番地402-3番地、27番地402-4番地	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	12 人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,110 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年6月 予定	評価の実施日	2026年7月30日
敷地面積	8,407 m ²	作成者	大知ハウス工業株式会社 中部流通一般建築士事務所 原 暁 雄 三
建築面積	2,276 m ²	確認日	2026年7月30日
延床面積	2,249 m ²	確認者	大知ハウス工業株式会社 中部流通一般建築士事務所 原 暁 雄 三



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
4.1	1.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.2	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

- ①地球温暖化への配慮
- LR-3 1 地球温暖化への配慮
- ②資源の有効活用
- Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
- LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
- ③敷地内の緑化
- Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
(仮称)フェルナ安城新明町店

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		独自基準	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質										2.8	
Q1 室内環境						0.40			-	3.2	
1 音環境						0.15			-	3.2	
1.1 室内騒音レベル						0.40			-		
1.2 遮音						0.40			-		
1 開口部遮音性能						1.00			-		
2 界壁遮音性能						-			-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-			-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-			-		
1.3 吸音				壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している		0.20			-		
2 温熱環境						0.35			-	3.0	
2.1 室温制御						0.50			-		
1 室温						0.50			-		
2 外皮性能						0.17			-		
3 ゾーン別制御性						0.33			-		
2.2 湿度制御						0.20			-		
2.3 空調方式						0.30			-		
3 光・視環境						0.25			-	3.0	
3.1 昼光利用						0.50			-		
1 昼光率						-			-		
2 方位別開口						-			-		
3 昼光利用設備						1.00			-		
3.2 グレア対策						-			-		
1 昼光制御						-			-		
3.3 照度						-			-		
3.4 照明制御						0.50			-		
4 空気質環境						0.25			-	4.0	
4.1 発生源対策						0.50			-		
1 化学汚染物質				F☆☆☆☆		1.00			-		
4.2 換気						0.30			-		
1 換気量						0.50			-		
2 自然換気性能						-			-		
3 取り入れ外気への配慮				空気取り入れ口は各種排気口と異なる方位で、かつ6m以上離れて設置		0.50			-		
4.3 運用管理						0.20			-		
1 CO ₂ の監視						0.50			-		
2 喫煙の制御				建物内全館禁煙		0.50			-		
Q2 サービス性能						0.30			-	3.2	
1 機能性						0.40			-	3.0	
1.1 機能性・使いやすさ						0.40			-		
1 広さ・収納性						-			-		
2 高度情報通信設備対応						-			-		
3 バリアフリー計画		独自				1.00			-		
1.2 心理性・快適性						0.30			-		
1 広さ感・景観 (天井高)				売場の天井高3.6m		0.33			-		
2 リフレッシュスペース						0.33			-		
3 内装計画						0.33			-		
1.3 維持管理						0.30			-		
1 維持管理に配慮した設計				防汚性の高い仕上げ方法や建材、塗装、コーティングを採用		0.50			-		
2 維持管理用機能の確保						0.50			-		
2 耐用性・信頼性						0.31			-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振						0.48			-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						0.80			-		
2 免震・制震・制振性能						0.20			-		
2.2 部品・部材の耐用年数						0.33			-		
1 躯体材料の耐用年数						0.23			-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②				0.23			-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						0.09			-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						0.08			-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						0.15			-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用		0.23			-		
2.4 信頼性						0.19			-		
1 空調・換気設備						0.20			-		
2 給排水・衛生設備						0.20			-		
3 電気設備		②				0.20			-		
4 機械・配管支持方法						0.20			-		
5 通信・情報設備						0.20			-		

3 対応性・更新性					0.2	3.7	0.29					3.7
3.1 空間のゆとり			②		0.3	5.0	0.31	-	-	-		
1 階高のゆとり		3.9m以上		-	5.0	0.60						
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.098		3.0	5.0	0.40						
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31						
3.3 設備の更新性				0.3	3.4	0.38						
1 空調配管の更新性				-	3.0	0.17						
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17						
3 電気配線の更新性		構造部材・仕上げ材を痛めることなく修繕出来る		3.0	5.0	0.11						
4 通信配線の更新性		構造部材・仕上げ材を痛めることなく修繕出来る		3.0	5.0	0.11						
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22						
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22							
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	-	1.8	
1 生物環境の保全と創出			独自③	-	1.0	0.30		-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	-	2.0	0.40		-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30	-	-	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	-	3.0	0.50							
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	2.0	0.50						
LR 建築物の環境負荷低減性						-					3.6	
LR1 エネルギー					-	0.40		-	-	-	3.9	
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.87	3.0	4.3	0.30		-	-	4.3	
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.20		-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				BEI=0.69	3.0	5.0	0.30		-	-	5.0	
4 効率的運用					0.2	3.0	0.20		-	-	3.0	
集合住宅以外の評価					1.0	3.0	1.00		-	-		
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50		-	-	-		
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50		-	-	-		
集合住宅の評価					-	-	-		-	-		
4.1 モニタリング				-	-	-		-	-	-		
4.2 運用管理体制				-	-	-		-	-	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	-	-	3.1	
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4	
1.1 節水					3.0	4.0	0.40		-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67		-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.33		-	-		
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.1	0.63	-	-	-	3.1	
2.1 材料使用量の削減			② 独自		-	2.0	0.07		-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25		-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.21		-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	3.0	0.21		-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-		-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	4.0	0.25		-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32		-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.0	0.68		-	-		
1 消火剤				-	-	-		-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50		-	-	-		
3 冷媒					3.0	3.0	0.50		-	-		
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	-	-	3.6	
1 地球温暖化への配慮			①		-	4.1	0.33		-	-	4.1	
2 地域環境への配慮					0.3	3.5	0.33	-	-	-	3.5	
2.1 大気汚染防止					-	5.0	0.25		-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善					-	3.0	0.50		-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	3.0	0.25		-	-		
1 雨水排水負荷低減		独自			-	3.0	0.25		-	-		
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25		-	-		
3 交通負荷抑制		独自			-	5.0	0.25		-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制					-	1.0	0.25		-	-		
3 周辺環境への配慮					0.3	3.2	0.33	-	-	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40		-	-		
1 騒音		独自			-	3.0	0.50		-	-		
2 振動		独自			-	3.0	0.50		-	-		
3 悪臭					-	-	-		-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					0.4	3.0	0.40		-	-		
1 風害の抑制					-	3.0	0.70		-	-		
2 砂塵の抑制					-	-	-		-	-		
3 日照阻害の抑制					-	3.0	0.30		-	-		
3.3 光害の抑制					0.2	4.4	0.20		-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					-	5.0	0.70		-	-		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30		-	-		

重点項目スコアシート
【仮称】フェルナ安城新明町店

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE:建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.1
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.1	0.10	3.2
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)フェルナ安城新明町店

計画上の配慮事項	
総合	環境に配慮した資源を使い、安全で快適に過ごせる建物を計画している
Q1 室内環境	建築基準法規制対象外となる建築材料を採用している
Q2 サービス性能	建築物に対して十分な耐用年数を持つ給排水配管がなされている
Q3 室外環境(敷地内)	特に無し
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に配慮している
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を利用し、資源の有効活用に努めている
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率＝72%
その他	特に無し